

# アスファルト混合物配合設計報告書

混合物： 再生粗粒度アスコン（20）

2024年 2月

倉吉アスコン株式会社

# アスファルト混合物配合設計総括表

報告年月日 2024年 2月27日

混合物の種類 再生粗粒度アスコン (20)

報告者 田子三由生

## 1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
5号碎石	坂田碎石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
6号碎石	坂田碎石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
7号碎石	坂田碎石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
砕砂	坂田碎石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
細砂	(有)永田商事	鳥取県東伯郡北栄町	天然砂
石粉	足立石灰工業㈱	岡山県新見市足立	石灰岩粉末
再生骨材 13-0	倉吉アスコン	倉吉市馬場町	アスファルトカケラ
ストレートアスファルト 80~100	ENEOS ㈱	岡山県倉敷市水島	ストアス80~100
RJ-1	三徳アスリード㈱		再生用添加剤

## 2. 使用骨材の配合割合

材料	5号碎石	6号碎石	7号碎石	砕砂	細砂	石粉	再生骨材 13-0					計
配合割合%	20.0	18.5	7.5	4.0			50.0					100.0

## 3. 合成粒度

ふるい目	53mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過質量百分率%				100.0	98.9	80.1		47.7	29.9		17.3	12.1	6.4	4.7
粒度範囲	上限			100	100	90		55	35		23	16	12	7
	下限			100	95	70		35	20		11	5	4	2

## 4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量 (%)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	理論密度 (g/cm <sup>3</sup> )	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー ( $\frac{1}{100}$ cm)	残留安定度 (%)
試験値	5.0	2.408	2.509	4.0	74.4	8.58	32	89.9
基準値	上限	—	—	7	85	—	40	—
	下限	—	—	3	65	4.90以上	20	75.0以上

※ マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

# 骨材試験成績表

目的 配合設計

報告年月日 2024年 2月27日

混合物の種類 再生粗粒度アスコン(20)

試験者 田子三由生

## ふるい分け試験

	ふるい目の開き	5号砕石	6号砕石	7号砕石	砕砂	細砂	石粉	再生骨材 13-0		
通過質量百分率%	53 mm									
	37.5									
	31.5									
	26.5	100.0								
	19	94.5	100.0					100.0		
	13.2	5.6	95.8	100.0		100.0		99.5		
	9.5									
	4.75	0.3	6.3	95.3	100.0	99.8		70.5		
	2.36		0.9	10.6	92.6	99.2		50.4		
	1.18									
	600 μm			1.0	33.3	84.3		31.7		
	300				18.6	42.8	100.0	22.7		
	150				9.3	6.6	98.0	11.9		
	75				5.8	0.8	88.2	9.0		

## 性状試験

試験項目		5号砕石	6号砕石	7号砕石	砕砂	細砂	石粉	再生骨材 13-0		
密度	表乾	2.687	2.674	2.654	2.662	2.503	—	—		
	かさ	2.668	2.649	2.615	2.628	2.453	—	—		
	見掛	2.720	2.718	2.721	2.723	2.582	2.700	—		
吸水率 / 水分量 %		0.71	0.95	1.48	1.30	2.04	0.01	—		
すりへり減量 %		—	12.3	—	—	—	—	—		
安定性 %		1.0	1.5	1.6	2.6	2.3	—	—		
微粒分量試験 %		—	—	—	—	—	—	1.2		
軟石含有量 %		0.4	0.5	—	—	—	—	—		
偏平細長石片 %		1.6	2.4	—	—	—	—	—		
単位容積質量		1.580	1.558	1.496	1.688	1.611	—	—		
粘土塊量 %		0.01	0.01	—	—	—	—	—		
最大密度		—	—	—	—	—	—	2.511		
旧As含有量 %		—	—	—	—	—	—	4.87		
旧As針入度		—	—	—	—	—	—	26		



# 骨材の粒径加積曲線図

目的配合設計

報告年月日 2024年 2月27日

混合物の種類 再生粗粒度アスコン(20)

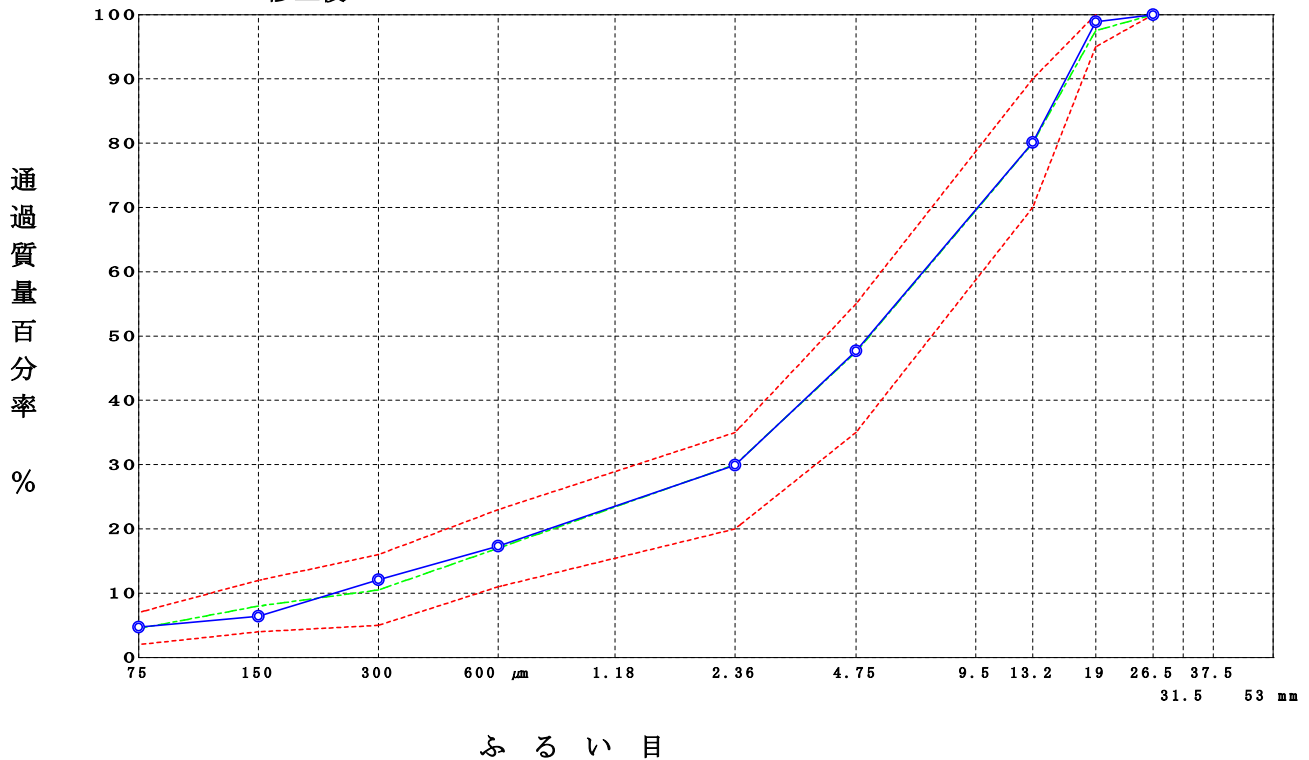
試験者 田子三由生

## 5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5	100.0	100.0	100.0	100
19	98.9	98.9	97.5	95 ~ 100
13.2	79.5	80.1	80.0	70 ~ 90
9.5				
4.75	51.4	47.7	47.5	35 ~ 55
2.36	31.1	29.9	30.0	20 ~ 35
1.18				
600 μm	20.2	17.3	17.0	11 ~ 23
300	17.1	12.1	10.5	5 ~ 16
150	14.4	6.4	8.0	4 ~ 12
75	12.4	4.7	4.5	2 ~ 7

## 6. 粒径加積曲線図

- 粒度範囲
- 目標粒度
- 修正後



# 再生骨材の性状試験結果

目的 配合設計

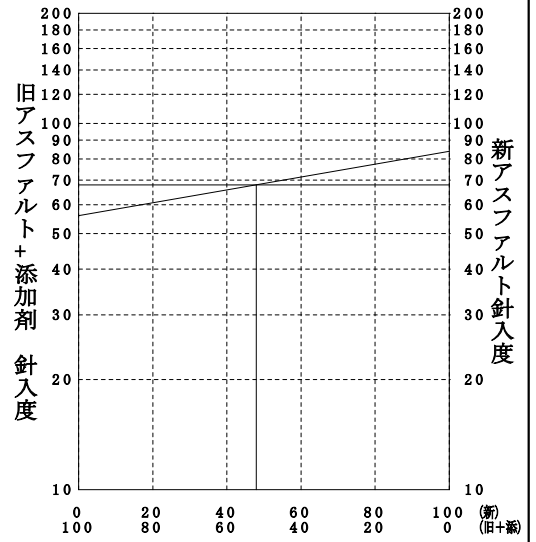
報告年月日 2024年 2月27日

混合物の種類 再生粗粒度アスコン(20)

試験者 田子三由生

試験項目	材料名	再生骨材 13-0	規格値
通過質量百分率%	53 mm		
	37.5		
	31.5		
	26.5		
	19	100.0	
	13.2	99.5	
	9.5		
	4.75	70.5	
	2.36	50.4	
	1.18		
	600 μm	31.7	
	300	22.7	
	150	11.9	
75	9.0		
旧アスファルト含有率 %		4.87	3.8以上
旧アスファルト針入度(25℃) 1/10mm		26	20以上
微粒分量試験による損失量 %		1.2	5以下
最大密度		2.511	

[添加剤+旧アスファルト] - [新アスファルト] 針入度関係図



## 再生添加剤の性状

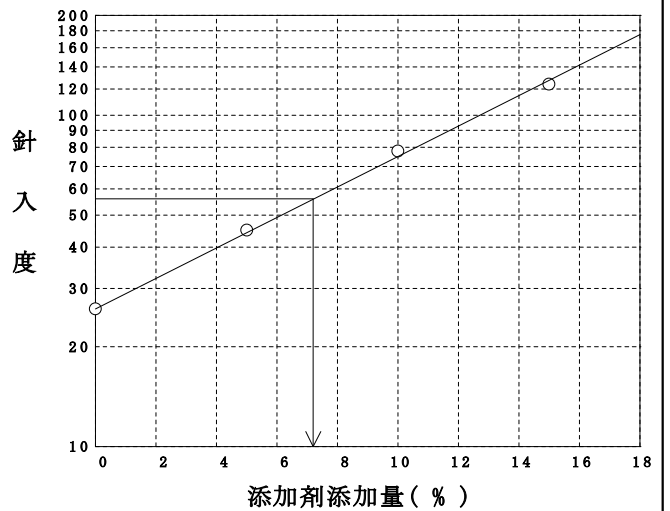
項目	試験値	標準的性状
動粘度 (60℃) mm <sup>2</sup> /s	86.3	80~1000
引火点 ℃	258	250以上
薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	1.08	2以下
薄膜加熱質量変化率 %	-0.72	±3%以内
密度 (15℃) g/cm <sup>3</sup>	0.927	

## 再生アスファルトの性状

項目	試験値	品質規格	
針入度 (25℃) 1/10mm	68	60~80	
軟化点 ℃	48.0	44.0~52.0	
伸度 (15℃) cm	100+	100以上	
トルエン可溶分 %	99.91	99.00以上	
引火点 ℃	356	260以上	
薄膜加熱質量変化率 %	0.05	0.60以下	
薄膜加熱針入度残留率 %	70.5	50.00以上	
蒸発後の針入度比 %	100	110以下	
密度 (15℃) g/cm <sup>3</sup>	1.036	1.000以上	
動粘度	(120℃)	---	---
	(150℃)	---	---
	(180℃)	---	---

## 針入度と添加剤添加量の関係

添加剤量 (%)	0	5	10	15
針入度 (1/10mm)	26	45	78	124



## 目標針入度になる添加剤量

対アスファルト	対混合物
7.20	0.18

# 理論最大密度計算表

目的配合設計 混合物の種類 再生粗粒度アスコン (20)	報告年月日 2024年 2月27日 試験者 田子三由生
---------------------------------	--------------------------------

骨材の種類	A 骨材のみ	B (旧アスファルト含む)						
5号碎石	20.0	20.00						
6号碎石	18.5	18.50						
7号碎石	7.5	7.50						
砕砂	4.0	4.00						
細砂								
石粉								
再生骨材 13-0	50.0	52.56						
計	100.0	102.56						
設計針入度 1/10mm		68						
旧As + 添加剤 針入度 1/10mm		56						
旧アスファルト量 (外割%)		2.56						
再生用添加剤量 (対アスファルト量) %		7.20						
再生用添加剤量 (対再生混合物) (外割%)		0.18						
再生アスファルト量 (%)	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0			5.0
再生アスファルト量 (外割%)	4.17	4.71	5.26	5.82	6.38			5.26
旧アスファルト量 (外割%)	2.56	2.56	2.56	2.56	2.56			2.56
再生用添加剤量 (外割%)	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18			0.18
新アスファルト量 (外割%)	1.43	1.97	2.52	3.08	3.64			2.52

# 理論最大密度計算表

目的配合設計

報告年月日 2024年 2月27日

混合物の種類 再生粗粒度アスコン (20)

試験者 田子三由生

① 骨材の種類	② 配合率(%)	③ 骨材の密度 (g/cm <sup>3</sup> )			④ 計算に用いる密度	⑤ ②/④
		表	乾	かさ 見掛		
5号碎石	20.00	2.687	2.668	2.720	2.720	7.353
6号碎石	18.50	2.674	2.649	2.718	2.718	6.806
7号碎石	7.50	2.654	2.615	2.721	2.721	2.756
砕砂	4.00	2.662	2.628	2.723	2.723	1.469
細砂		2.503	2.453	2.582	2.582	
石粉				2.700	2.700	
再生骨材 13-0	52.56				2.511	20.932
RJ-1	0.18				0.927	0.194
Σ②=	102.74				Σ⑤=	39.510

⑥ アスファルト量 (%)	⑦ アスファルトの密度	⑧ ⑥/⑦	⑨ Σ⑤	⑩ ⑧+⑨	⑪ 理論最大密度 (Σ②+⑥)/⑩	
1.43	1.035	1.382	39.510	40.892	2.547	
1.97		1.903	39.510	41.413	2.528	
2.52		2.435	39.510	41.945	2.509	
3.08		2.976	39.510	42.486	2.491	
3.64		3.517	39.510	43.027	2.472	
2.52		2.435	39.510	41.945	2.509	



# マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計

報告年月日 2024年 2月27日

混合物の種類 再生粗粒度アスコン (20)

試 験 者 田子三由生

アスファルトの種類 再生アスファルト      アスファルトの密度 (A) 1.036      アスファルトの温度 150      °C      骨材の温度 170      °C  
 突 固 め 温 度 140      °C      突 固 め 回 数 50      回      力 計 の 係 数 (B) 0.142

供 試 体 条 件	供 試 体 番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	安 定 フ ロ ー 値 (kN/m)		
		ア ス フ ア ル ト 量 %	供試体寸法					空 中 質 量 (g)	水 中 質 量 (g)	表 乾 質 量 (g)	容 積 (cm <sup>3</sup> )	密 度		ア ス フ ア ル ト 積 (%)	空 隙 率 (%)	骨 材 間 隙 率 (%)	飽 和 度 (%)	安 定 度			フ ロ ー 値 (kN)	
			厚  さ (c m)									⑦ / ⑩	⑪ / ⑫					⑬ × ⑭ / ⑮ × ⑯	⑰ × ⑱ / ⑲ × ⑳			⑳ × ㉑ / ㉒ × ㉓
			1	2	3	4	平均															
標 準	1	4.0	6.32	6.33	6.31	6.32	6.32	1222.2	706.5	1224.6	518.1	2.359							59	8.38	30	
	2		6.45	6.43	6.43	6.45	6.44	1224.9	707.6	1227.7	520.1	2.355							54	7.67	21	
	3		6.27	6.28	6.28	6.26	6.27	1217.1	702.7	1220.0	517.3	2.353							52	7.38	27	
	平均												2.356	2.547	9.1	7.5	16.6	54.8		7.81	26	3004
標 準	4	4.5	6.43	6.42	6.41	6.43	6.42	1226.4	714.6	1228.0	513.4	2.389							62	8.80	33	
	5		6.28	6.29	6.28	6.28	6.28	1222.3	710.9	1224.3	513.4	2.381							57	8.09	24	
	6		6.33	6.33	6.34	6.35	6.34	1227.1	713.6	1229.0	515.4	2.381							55	7.81	30	
	平均												2.384	2.528	10.4	5.7	16.1	64.6		8.23	29	2838
標 準	7	5.0	6.34	6.32	6.33	6.33	6.33	1233.4	722.7	1234.7	512.0	2.409							65	9.23	35	
	8		6.32	6.32	6.32	6.32	6.32	1233.0	721.3	1234.4	513.1	2.403							52	7.38	32	
	9		6.38	6.38	6.38	6.39	6.38	1234.1	724.0	1235.2	511.2	2.414							61	8.66	30	
	平均												2.409	2.509	11.6	4.0	15.6	74.4		8.42	32	2631
標 準	10	5.5	6.41	6.40	6.39	6.40	6.40	1234.4	722.4	1235.2	512.8	2.407							53	7.53	33	
	11		6.27	6.25	6.25	6.27	6.26	1233.4	724.8	1234.1	509.3	2.422							58	8.24	38	
	12		6.39	6.40	6.41	6.40	6.40	1233.2	722.7	1234.0	511.3	2.412							62	8.80	38	
	平均												2.414	2.491	12.8	3.1	15.9	80.5		8.19	36	2275
標 準	13	6.0	6.40	6.41	6.41	6.41	6.41	1225.5	714.7	1226.0	511.3	2.397							47	6.67	41	
	14		6.44	6.43	6.43	6.45	6.44	1232.9	722.1	1233.5	511.4	2.411							51	7.24	40	
	15		6.33	6.32	6.34	6.33	6.33	1225.3	715.4	1225.9	510.5	2.400							39	5.54	43	
	平均												2.403	2.472	13.9	2.8	16.7	83.2		6.48	41	1580

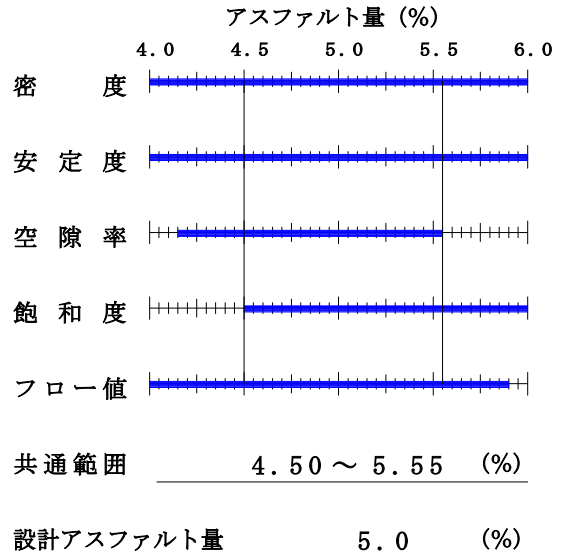
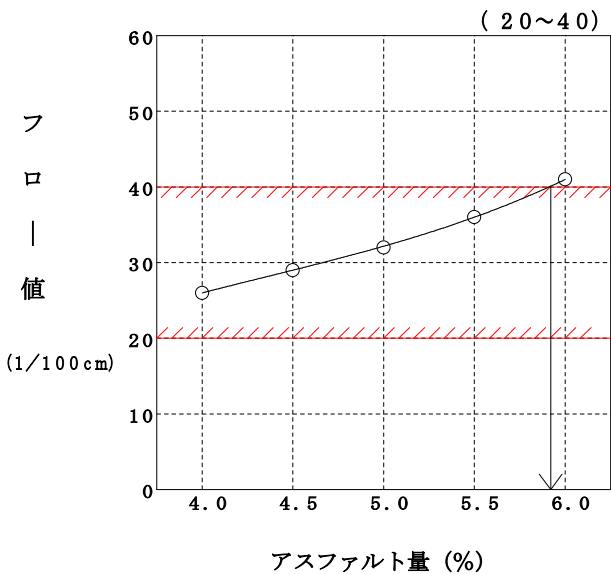
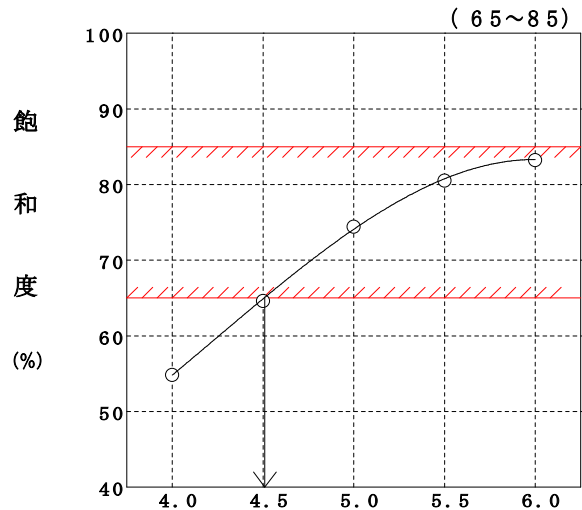
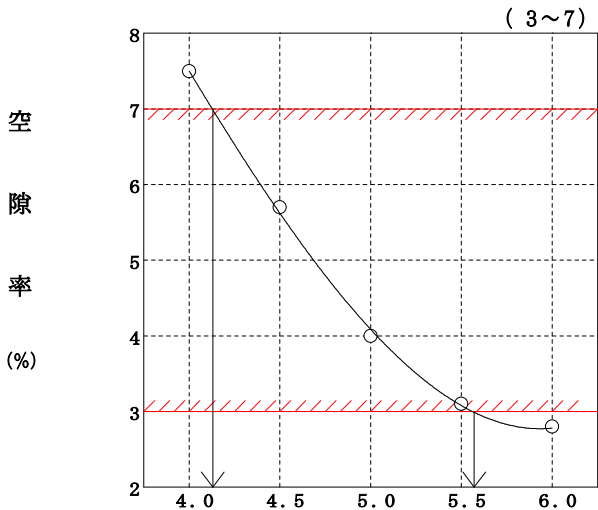
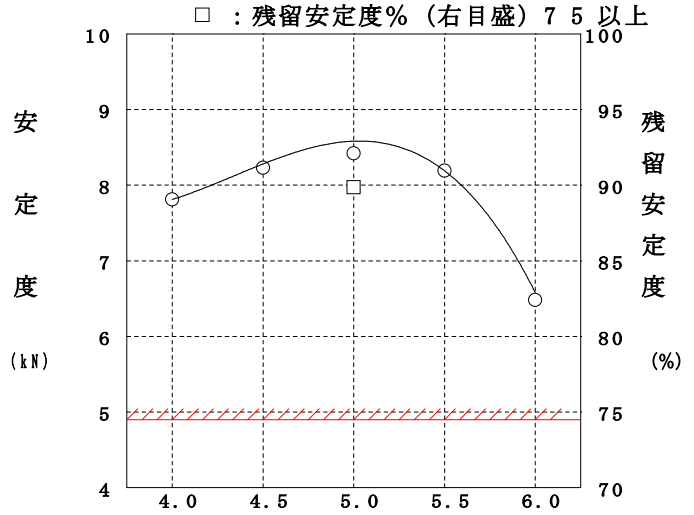
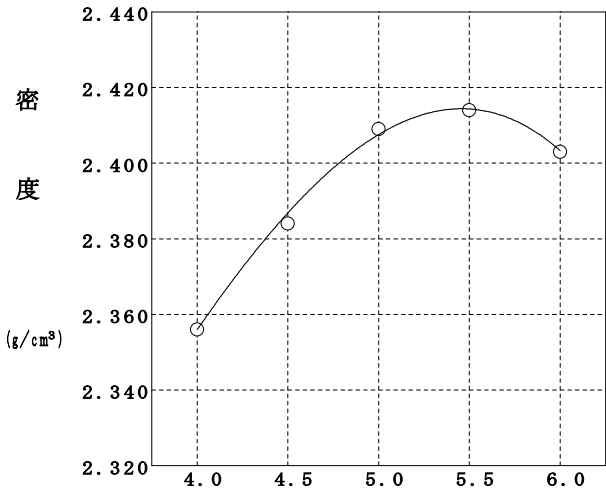
# 設計アスファルト量の決定

目的配合設計

報告年月日 2024年 2月27日

混合物の種類 再生粗粒度アスコン(20)

試験者 田子三由生







# ホットビンの粒径加積曲線図

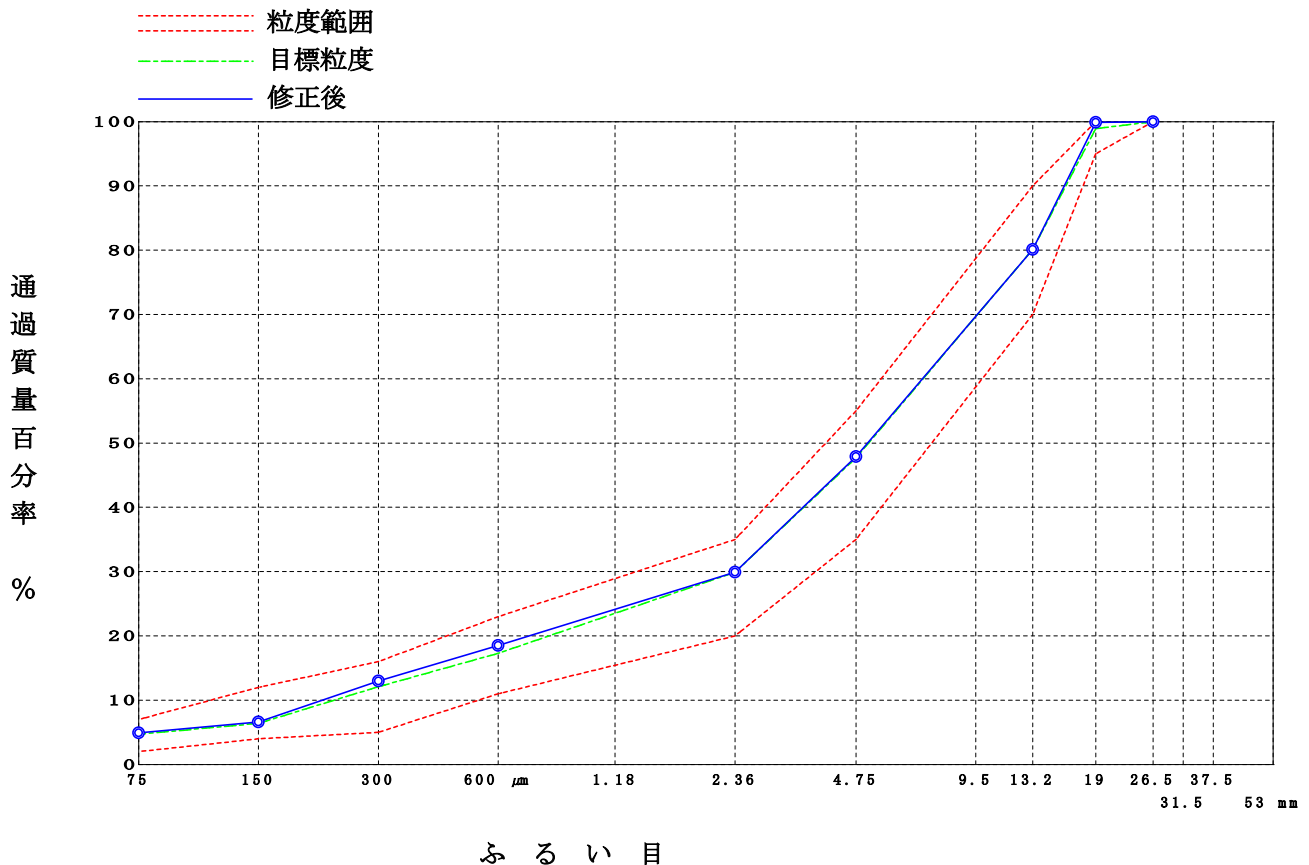
目的 配合設計  
 混合物の種類 再生粗粒度アスコン (20)

報告年月日 2024年 2月27日  
 試験者 田子三由生

## 5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5	100.0	100.0	100.0	100
19	99.8	99.9	98.9	95 ~ 100
13.2	79.6	80.1	80.1	70 ~ 90
9.5				
4.75	49.5	47.9	47.7	35 ~ 55
2.36	29.2	29.9	29.9	20 ~ 35
1.18				
600 μm	19.2	18.5	17.3	11 ~ 23
300	14.1	13.0	12.1	5 ~ 16
150	8.7	6.6	6.4	4 ~ 12
75	7.2	4.9	4.7	2 ~ 7

## 6. 粒径加積曲線図



# 理論最大密度計算表

目的配合設計
報告年月日 2024年 2月27日  
混合物の種類 再生粗粒度アスコン (20)
試験者 田子三由生

骨材の種類	A 骨材のみ	B (旧アスファルト含む)
5号碎石	20.0	20.00
6号碎石	18.5	18.50
7号碎石	7.5	7.50
砕砂	4.0	4.00
細砂		
石粉		
再生骨材 13-0	50.0	52.56
計	100.0	102.56
設計針入度 1/10mm		56
旧アスファルト量 (外割%)		2.56
再生用添加剤量 (対アスファルト量) %		7.20
再生用添加剤量 (対再生混合物) (外割%)		0.18
再生アスファルト量 (%)	5.0	
再生アスファルト量 (外割%)	5.26	
旧アスファルト量 (外割%)	2.56	
再生用添加剤量 (外割%)	0.18	
新アスファルト量 (外割%)	2.52	







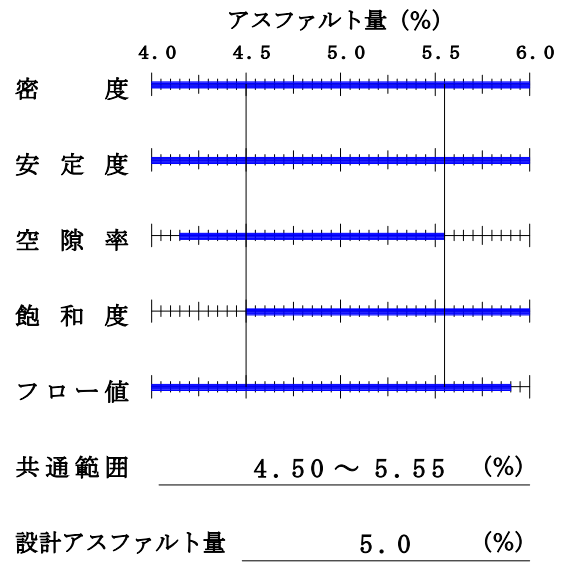
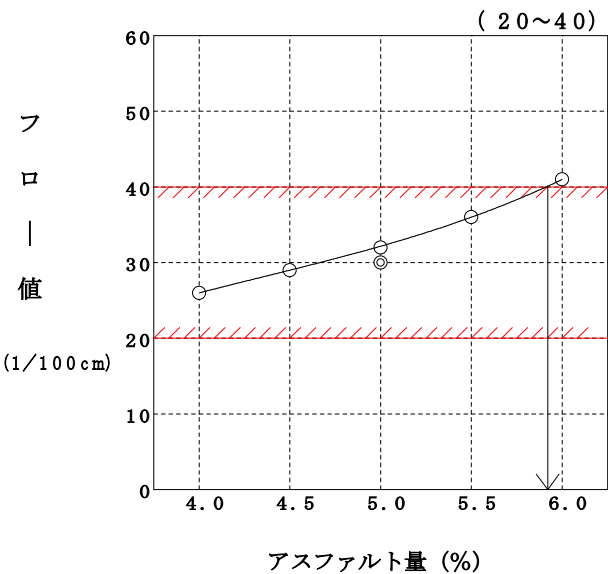
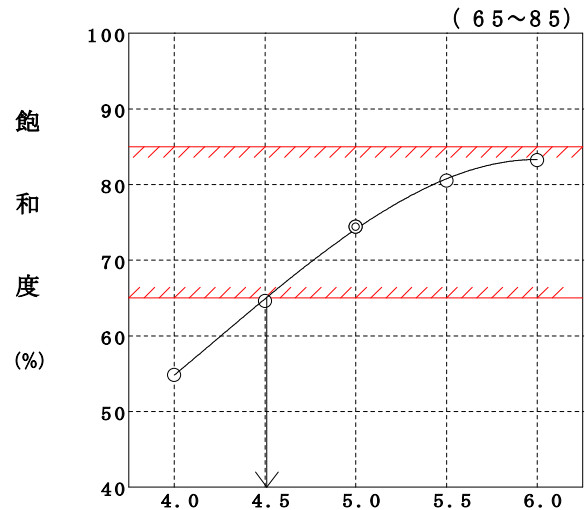
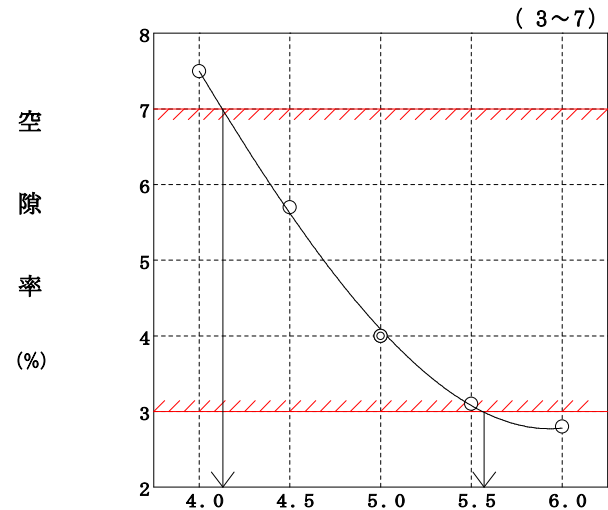
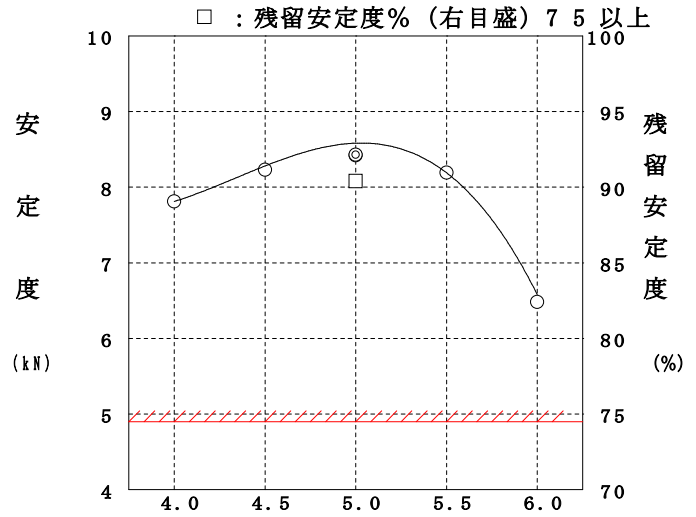
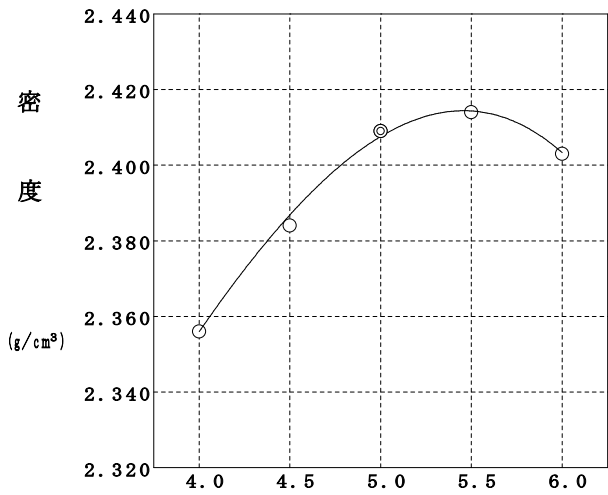
# マーシャル安定度試験

目的 配合設計

報告年月日 2024年 2月27日

混合物の種類 再生粗粒度アスコン (20)

試験者 田子三由生



# 現場配合の決定

目的配合設計
報告年月日 2024年 2月27日  
混合物の種類 再生粗粒度アスコン(20)
試験者 田子三由生

1バッチ 1000 kg

	骨材配合比(%)	外割配合比(%)	内割配合比(%)	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
4 ビン	21.0	21.00	19.94	199	470
3 ビン	16.0	16.00	15.20	152	271
2 ビン	8.5	8.50	8.08	81	119
1 ビン	4.0	4.00	3.80	38	38
再生骨材	50.0	52.56	49.93	501	501
回収ダスト	0.5	0.50	0.48	4.8	4.8
					4.8
旧アスファルト		( 2.56 )	( 2.43 )		
再生用添加剤		0.18	0.17		
新アスファルト		2.52	2.40	24.0	24.0
合計	100.0	105.26	100.00	999.8	999.8

※添加剤は再生ドライヤ内添加のため再生材の計量値に含まれます。

- (1) 混合温度・・・・・・・・混合温度は185℃を超えない範囲でアスファルトの動粘度  
150～300cSt (セイボルトフロー秒75-150)  
のときの温度範囲から選び 160 ± 15 °Cとする。
- (2) 再生骨材加熱温度・・・・・・・・加熱温度による旧アスファルトの劣化を防ぐ目的に  
より 140 ± 15 °Cとする。
- (3) 骨材加熱温度・・・・・・・・混合温度より 30 °C高くして 190 ± 15 °Cとする。
- (4) アスファルト加熱温度・・・・・・・・混合温度と同じ 160 ± 15 °Cとする。
- (5) 初期転圧温度・・・・・・・・転圧温度は再生アスファルトの性状により 145 ± 15 °Cとする。